

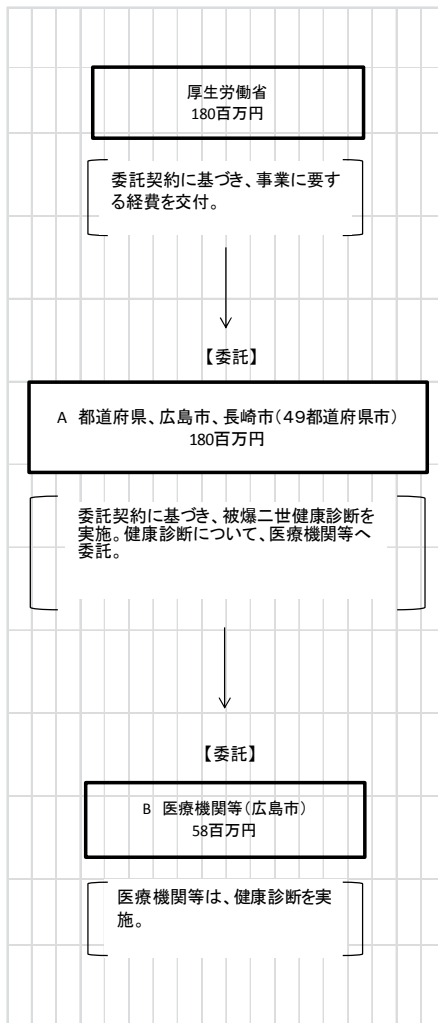
平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	被爆二世健康診断調査委託費			<b>担当部局庁</b>	健康局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	昭和54年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課指導調査室	総務課指導調査室 小野 清喜		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、 通知等</b>	「被爆二世健康診断調査事業の実施について」			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	社会保障			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し健康管理に資することを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	被爆二世健康診断調査委託費 委託先: 都道府県、広島市及び長崎市(健康診断は医療機関等へ委託し実施) 対象者: 被爆二世であって健康診断を希望される方							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・ 執行額 (単位: 百万円)</b>	<b>予算 の 状 況</b>	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	181	175	181	178	0	
	執行額	181	174	180				
	執行率 (%)	100%	99%	99%				
<b>成果目標及び成 果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎年度	
	被爆二世の健康管理に資するため、前年度以上の受診率達成を目標とする。	前年度受診者数に対する 当該年度受診者数	成果実績	人	19,298	17,660	集計中	
			目標値	%	17,600	19,298	17,660	17,660
			達成度	%	110%	92%	集計中	
<b>活動指標及び活 動実績 (アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	被爆者二世健康診断受診者数	活動実績	人	19,298	17,660	集計中		
		当初見込み	人	20,468	19,750	19,877	18,286	
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = 8,840円/件	単位当たり コスト	円	8,410	8,430	8,840	8,840	
	上限単価: 8,840円(各検査項目の診療報酬点数を積み上げて算出)	計算式	/	上限単価	上限単価	上限単価	上限単価	
<b>平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位: 百万円)</b>	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	委託費	178						
	計	178	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状をかんがみると、事業目的や重要性の観点から国費を投入して実施すべき事業である。	
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	目的(被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にがんがみ、希望者に対し健康診断を実施し、被爆二世の健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資すること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。	
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	被爆二世に対し健康診断を実施することにより、健康管理に資するものであり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	診療報酬に基づき、適切に設定されている。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	被爆二世健診事業を実施する上で必要な経費に限定されている。	
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	目標に対し9割以上の成果を達成している。	
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込に対し約9割の活動実績が出ている。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
		所管府省・部局名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	24年度には目標受診者数を超えるなど、年度毎に受診数にばらつきが見られるため、引き続き、適切な受診者数を見込むことが必要。			
	改善の方向性	当初見込み人数の約9割の範囲で受診者数が推移してきており、引き続き受診者数の増減の傾向を見ながら希望者について、全員が受診可能となるよう適正な規模の予算の確保に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	180	平成23年度	157	平成24年度	129
平成25年度	154	平成26年度	166		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位: 百万  
円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.広島市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	医療機関等への健診委託費	58			
賃金	臨時職員に要する経費	1			
需用費	受診票、文具等	1			
役務費	受診票等発送	1			
計		61	計		0
B.病院(広島市)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
健診費	健康診断に要する経費	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.47都道府県、広島市、長崎市

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島市	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	61	随意契約	-
2	長崎市	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	31	随意契約	-
3	広島県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	25	随意契約	-
4	大阪府	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	8	随意契約	-
5	長崎県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	6	随意契約	-
6	神奈川県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	6	随意契約	-
7	福岡県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	5	随意契約	-
8	山口県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	4	随意契約	-
9	兵庫県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	4	随意契約	-
10	千葉県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	3	随意契約	-

B.医療機関等(広島市)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	病院A	被爆二世健診の実施	20	随意契約	-
2	病院B	被爆二世健診の実施	6	随意契約	-
3	病院C	被爆二世健診の実施	4	随意契約	-
4	病院D	被爆二世健診の実施	4	随意契約	-
5	病院E	被爆二世健診の実施	3	随意契約	-
6	病院F	被爆二世健診の実施	2	随意契約	-
7	病院G	被爆二世健診の実施	2	随意契約	-
8	病院H	被爆二世健診の実施	2	随意契約	-
9	病院I	被爆二世健診の実施	1	随意契約	-
10	病院J	被爆二世健診の実施	1	随意契約	-